

## 「住宅の長期使用を実現する木質材料の接着耐久性評価に関する研究」が「ウッドデザイン賞2018」奨励賞（審査委員長賞）を受賞

11月20日に発表されたウッドデザイン賞運営事務局<sup>\*1</sup>主催の「ウッドデザイン賞2018」<sup>\*2</sup>（林野庁補助事業）において、全受賞作品189点の中から上位賞が発表されました。

積水ハウス株式会社と国立大学法人静岡大学との共同応募で、「住宅の長期使用を実現する木質材料の接着耐久性評価に関する研究」が、ライフスタイルデザイン部門「奨励賞（審査委員長賞）」を受賞いたしました。12月6日には表彰式、受賞作品の展示、「エコプロ2018」（東京ビッグサイト）内にて開催されます。

【奨励賞（審査委員長賞）】 <ライフスタイルデザイン部門>  
住宅の長期使用を実現する木質材料の接着耐久性評価に関する研究  
（国立大学法人静岡大学との共同応募）



### ■ 審査評

木造建築物の安全性に関して大きく影響を与える要因である接着要素に対し、その構造強度を損なう恐れがある劣化に関する評価を行う研究。木材使用量が多い集成材に対し研究を行い成果を得た。さらに近年JISに加えられた構造用MDF・PBに対し、釘接合時の耐久性の評価を行った。新たな技術、製品の市場投入が増加するなか、こうした地に足の着いた実験・実証は大変に重要である。

木造住宅シャーウッドの主要な構造躯体である集成材の柱・梁等の接着耐久性に関する基礎的な研究を継続していくことは、今後の良質な住宅ストックを社会に提供していくために欠かせません。特に永きにわたり住み続けられる木造住宅を開発するにあたり、木質材料の経年による強度等の変化の把握・予測は、建物の構造安全性を維持するために重要な研究です。

積水ハウスでは、国立大学法人静岡大学と共同で、木質材料の接着耐久性研究を実施しました。様々な条件の促進劣化試験を実施することで、本来は数十年の実績が必要なところを、短期間で推測する技術的アプローチを行い、屋内環境における木質材料の長期耐久性の可能性を実証できました。



長期使用を実現する高い耐震性の木造軸組構法「シャーウッド構法」

また、研究で実証した木材の価値をお客様に提供すべく、木造住宅シャーウッドにおいて「構造・防水初期保証30年」制度を開始しました。構造躯体と雨水の浸入を防止する部分について、「住宅の品質確保の促進等に関する法律（品確法）」で義務化された10年間の瑕疵担保責任期間にさらに20年間の保証を加えた「30年保証制度」を適用しています。保証終了後も、独自の「ユートラスシステム」で10年間の再保証が繰り返し受けられます。

30+ ユートラス  
U-trus  
system  
住宅の30年保証と  
ユートラスシステム

今後も様々な観点から木材活用に繋がる研究を進め、木造住宅の開発を通じて、お客様の満足度をさらに高めるとともに、安全・安心で快適な住宅を提供し続けます。

- ※1 ウッドデザイン賞運営事務局は、特定非営利活動法人 活木活木（いきいき）森ネットワーク、公益社団法人 国土緑化推進機構、株式会社ユニバーサルデザイン総合研究所の3者から構成されるウッドデザイン賞の運営及び関連事業を推進する組織です。
- ※2 ウッドデザイン賞は、木の良さや価値を再発見させる製品や取り組みについて特に優れたものを消費者目線で評価し、表彰する顕彰制度です。